

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

生活目標

『好き嫌いなく食べよう』

平成25年1月8日

第11号

川越市立高階南小学校

明けましておめでとうございます。

厳しい寒さの中、新しい年が始まりました。

冬休みの間、閑散としていた学校にも子どもたちが戻ってきました。グラウンドや教室には子どもたちの歓声や笑顔が溢れています。やはり学校の主役は子どもたちですね。

朝日を浴びながらランドセルを背に登校してくる子どもたちの明るいあいさつに「今年も元気に頑張ろう！」というエネルギーを感じました。

3学期は、勉強や生活のまとめをするとともに、中学校や次の学年への準備をする期間でもあります。3月22日（金）の卒業式や26日（火）の修了式に向け、それぞれの学年が精一杯の努力をし、自分を成長させてくれることでしょう。私たち教員も子どもたちに寄り添い、しっかりと指導してまいります。どうか今年もよろしく願いいたします。

為者常成、行者常至

「為（な）す者常に成り、行（な）す者常に至る」

これは、中国の歴史書である「晏子春秋（あんししゅんじゅう）」に出てくる言葉です。

「ものごとをなす者はいつの時代にあってもどこの世界にあっても成果を収めるものである。やらねばならぬこと、やろうとすることを実行する者は、いつの時代にあってもどこの世界にあっても、目標に至るものである。」という意味だそうです。

私たちは、実行の手立てを考え、具体的に動かなければいけない時、ややもすると「できない理由」を探しがちです。実行しなければ何事もなし得ない。まずは実践が大切なのだという事を説いているのでしよう。

一年の計(けい)は元旦にあり

「一年の計は元旦にあり」といいます。一年の始まりを迎えた3学期。学年末に向け、なりたい自分を目指して、自分を成長させることが求められます。立てた計画にしたがって努力を積み重ねていくことが何より大切です。

冬休みに入る前、子どもたちには、一年を振り返り、自分を支えてくれる家族に感謝の気持ちを込めて「ありがとう」と伝えるようにお話をしました。忙しい日々の中で、親子や家族でじっくり話すのは難しかったかもしれません。もしできましたら、区切りのこの時期、「目指す自分の姿」について一言尋ねていただくとありがたいと思います。

甚大な被害をもたらした東日本大震災は、私たちを震撼させ、天変地異における人間の無力さに立ち竦む思いでした。しかし、その後の原発事故を含めた想像を絶する過酷な状況の中においても、被災地の、そして、全国の人々の、互いを思いやる心は絶えることなく、その沈着な振る舞いも世界の人々に深い感銘を与えました。

世の中がややもするとマイナス思考に陥りそうな今だからこそ、私たちは未来への希望と誇りを胸に「当たり前前の生活を安全に送れることの幸せ」を噛みしめ、感謝の気持ちとともに、一日一日を大切に、自分を成長させていかななくてはなりません。

新しい年の始まりはいつもわくわくドキドキです。子どもたちとともに充実した3学期、そして、すばらしい一年にしたいものです。